



なり さわ 成沢 ひろのぶ

マニフェスト

子どもたちと高齢者への応援歌。

第2楽章へ 「文の京」で安心を紡ぐ。

プロフィール

- 文京区本郷生まれ、45歳。
- 暁星学園幼小中高、駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了、修士(公共政策学)。
- 当時全国最年少の25歳で文京区議会議員に初当選。第37代・第40代文京区議会議員、平成17年度特別区議会議長会会長。
- 平成19年、文京区長に就任。
- 平成22年より明治大学特別招聘教授(経営学部公共経営学科)
- ベストマザー賞2010を受賞。

「文の京」の未来を担う子どもたちと地域の功労者である高齢者をつなぐ「責任世代」として、住んでいて良かったなあと、もっと実感していただけるように、4年前の選挙で、成沢ひろのぶマニフェスト「子どもたちと高齢者への応援歌。」を掲げました。

その後、平成22(2010)年には徹底した区民参画により基本構想を改定しました。その中で、増大する様々な行政課題に対応するために「新たな公共」の必要性に言及し、文京区の新たな将来都市像を掲げ、これに基づき、平成23(2011)年度から25(2013)年度までの3ヶ年間の基本構想実施計画を今年3月に策定しました。

私はこの実施計画を確実に達成することこそが2期目のマニフェスト

の基本であると考えています。

今回の選挙では、東日本大震災の発生を受け、選挙期間中も文京区災害対策本部長としての公務を最優先にいたします。

そのため、私自身の選挙カーによる遊説は行わず、街頭での選挙運動は志を同じくする区議候補の支援などを公務の合間に行うことに留めたいと考えています。

公職選挙法の改正により、前回の区長選挙から16,000枚のマニフェストの配布が可能となりました。選挙のあり方も「お願い」からマニフェストによる「約束」へと変わりました。多くの皆さんに手にとりいただき、総合的な判断材料にいただければと願っています。

区政運営の基本ビジョン

文京区は23区の中でも「安全なまち」と言われています。現に昨年は刑法犯の認知件数、火災の発生件数、交通死亡事故の発生件数ともに最少でした。しかし、それが「安心」に繋がっていません。振り込め詐欺、児童への声かけ事案をはじめ課題は数多く残っています。また、高齢者の所在不明問題、児童虐待、今回の大震災などを見ても、今こそ地域と家族の「絆の再生」が必要とされていると考えています。

文京区が誇るべき歴史と伝統のあるまちで、新たな公共の担い手とさらに協働することで、新しいコミュニティネットワークを繋げることが必要です。

そこで、私はこの4年の区政運営のビジョンを、
「文の京」で安心を紡ぐ。とします。

文京区基本構想実施計画(平成23～25年度)の実現

基本構想～歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」～を具体的に実現するため、3月に基本構想実施計画を策定しました。この計画に盛り込まれた事業を着実に実施していくことがマニフェストの最も重要な柱となります。計画化された事業数は**245事業**、総額**411億9,800万円**となりました。分野別の主な内容は次の通りです。

※詳しい事業内容、事業量、事業費等は区のホームページをご覧ください。
http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_kikaku.html

【子育て・教育】⇒66事業

保育園・育成室・子育てひろば等の増設、児童虐待防止、学校施設の計画的改修・新教育センターの整備、特別支援教育の充実、放課後全児童向け事業など。

【福祉・健康】⇒59事業

特別養護老人ホームの増設、高齢者安心見守りネット、新福祉センターの整備、各種がん検診・予防接種の充実、地域医療連携の推進など。

【コミュニティ・産業・文化】⇒59事業

地域活動拠点の整備、産学官連携・社会企業家育成、中小企業・商店支援、森鷗外記念館・新総合体育館の整備、観光・国際交流など。

【まちづくり・環境】⇒44事業

コミュニティバス2路線目の運行、地球温暖化対策、3Rの推進、地域防災計画の修正、耐震改修の促進など。

【行財政運営・基本構想の進行管理】⇒17事業

改革志向の職員育成、区民参画のさらなる推進、施設の有効活用、事務事業の見直し、安定的な財政基盤の構築など。

※行財政運営については、平成23年度末に改定する「行財政改革推進計画」において、さらなる具体的な方策をお示しします。

⇒裏面に続きます

区政運営の進め方

「第2楽章」の区政運営については、実施計画の着実な実現と並行して、さらなる課題解決のために、「安心」実感までを3つの段階に分けて進めていきます。

【第1段階】

行政の役割の再確認、行政サービスの向上、効率化・スリム化への取り組み

【第2段階】

区民との協働のさらなる推進、新しい地域価値の創造

【第3段階】

地域の自治力の向上、「新たな公共」による社会システムの構築

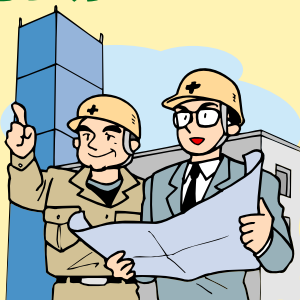
※この3つの段階に期間内に到達することを「第2楽章」の目標としますが、行政側のアプローチだけでは達成できない課題もあると認識しています。

新たに取り組むべき7つの視点

すべての区民が安心して生活できるよう、新たに取り組む7つの視点を掲げます。

①安全・安心で災害に強いまちづくり

耐震補強の取り組み、防災性の向上を目指したまちづくり、さらには、区民同士の支え合い等により、地域の安心を紡ぎます。



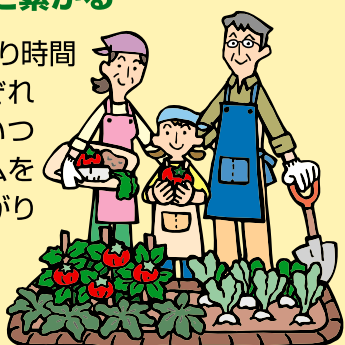
②子育てを通じて地域社会と繋がる

子ども連れでのボランティア活動や子育て自主グループの充実により地域との繋がりを作り、安心を紡ぎます。

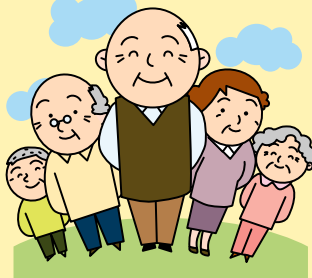


③第二の人生を楽しむ活動で地域社会と繋がる

退職等により時間に余裕ができた区民がそれぞれの得意分野、趣味を活かし、いつでも気軽に参加できるシステムを構築することで地域との繋がりを作り、安心を紡ぎます。



④高齢者になっても豊かに暮らせる地域づくり



地域での穏やかな支え合いや交流のネットワーク等、高齢になっても豊かに暮らせる仕組みを作り、安心を紡ぎます。

⑤家庭生活から始める地球にやさしい環境づくり

節電や物を大切にする等といった、生活に根ざした環境保護の取り組みにより、未来への安心を紡ぎます。



⑥あらゆるライフステージでの健康維持・向上の推進



地域医療連携や周産期医療の充実など、地域の医療を繋ぐことで安心を紡ぎます。



⑦財政の健全化をすすめ区民ニーズに対応

今後も厳しい財政状況が続くことが予想される中であっても、財政運営の健全化をすすめ、増大する行政課題に迅速かつきめ細かく対応することで安心を紡ぎます。



そして、こうした新たな取り組みを区民の皆さんとの協働により進めるため、これまで以上に、**改革志向の職員集団**を築きます。

現役東大生による 成沢ひろのぶマニフェスト 「子どもたちと高齢者への応援歌。」 達成度第三者評価

区長インターンシップ生の坂本龍一さん(東京大学経済学部3年)により、区長1期目のマニフェストの第三者評価を受けました。

その達成率は…、**89.0%**!

評価基準、具体的な評価の内容はホームページをご覧ください。⇒<http://narisawa.net>